

桑名市議会議長
南 澤 幸 美 様

第 3 班 班長
佐 藤 肇 印

議会報告会実施結果報告書

開催日時	平成 28 年 10 月 24 日 (月) 18 時 30 分 ~ 20 時 00 分		
開催場所	桑名市民会館 3 階会議室		
出席議員	班 長	佐藤肇	
	司 会	富田薫	記録者 箕浦逸郎
	伊藤恵一	石田正子	市野善隆
	愛敬重之		
参加人数	19 人		
議会報告の概要	<ul style="list-style-type: none">・開会挨拶(班長)・各議員紹介・議会報告会(配布資料に沿って説明)<ul style="list-style-type: none">① 6 月、9 月定例会、決算、事業評価の報告② 意見交換		
主な意見・要望	<ul style="list-style-type: none">・小中一貫教育について・市の財政・決算について・空き家対策について・福祉事業について・医療センターの収支と津波対策について		
備 考			

議会報告会記録

【第3班】

(1/2)

開催日時	平成28年10月24日（月） 18時30分 ～ 20時00分	
開催場所	桑名市民会館 3階会議室	
参加人数	19人	
議会報告に対する 質疑応答	質 問	回 答
	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育について 一貫校になっても子どもにメリットがあるのか？ 保護者への連絡がいつているのか？ 市民との話し合いの場所を持った方が良いのでは？ 今後どうなるのか？ もっと地区ぐるみで推進して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の議会でも事業評価をしてきた。 市は、小中一貫教育の推進方向で進んでいる。 議論のやり直しを求める請願もあったが否決された。 自治体によっては、慎重に進めている所もある。 桑名はまだ市民とは連携が進んでいないと感じている ・現在あり方検討委員会で議論されており、今年度に答申が出され、来年度以降に地域の声を聞くということになっている。 ・小中一貫といえども学校がなくなるわけではない部分もある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・決算報告について 4億円台の赤字が出ている。 どうすれば赤字が減るのか？赤字の原因は施設が多いせいなのか？ ・人件費も高い。議員の数を減らすのはどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・特効薬はない。地道にやっていくしかない。 ・4億円の赤字は病院の赤字。桑名市は10億円ほどの黒字。 ・図書館等のPFI手法の見直しなど、議会としても赤字削減になる可能性のある提案をしている。 ・市はふるさと納税や公共施設の再編で収支改善をしている。 ・職員数適正化計画に基づいて、人件費は年々下がっている。 ・議員も前回選挙時に30名から26名に削減された。現在はその削減の結果を検証している。今後については、現状維持か、削減の方向で議論している。 ・次回の議会だよりでも議会費、議員数の紹介があるので参考にしてください。

<p>参加者からの 意見・要望等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名市の空き家対策はどのようになっているのか？例えば空き家の大木の問題や災害時の対策は？市の体制は？ ⇒現在、空家等対策協議会をしている。自治会の協力のもと、空き家の調査をしている状態。 ・問題は個人で解決しないといけないのか？ ⇒議員の方にも相談してほしい。 現在協議会の方でも空き家等指導要領を作成中で、市としてもそれに基づいて相談・対応をする体制をとる予定。 ・庁内で情報の共有化をして欲しい。そうすれば問題解決もスムーズにいくと思う。 ⇒貴重な意見ですので参考にさせていただきます。 ・空き家問題は10年来言っている（市長にも直接言った）が、何もできていない。 条例を作るまでは何もできないのか？ ⇒国で空き家対策特別措置法はできたが、市の条例はまだできていない。 問題は十分に認識しているが、他人の財産のために簡単に対処できないという問題もある。 ・条例はいつできるのか？ ⇒来年度4月からが空き家対策の計画期間になっている。 ・固定資産税の特例に関しても議論してほしい。 ⇒貴重なご意見として承ります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉会館で行われている脳トレを受けている。頭の活性化にもありがたい。これと市との関係はあるのか？ 他市ではやっていない。今後も続けてほしい。 ⇒市の事業なのか、社会福祉協議会の単独事業なのかはわかりませんが、本日のご意見は重く受け止めます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・医療センターの医師の確保。放射線治療について。 現理事長によって、放射線治療機器が導入されようとしている。これはがん患者用の設備だが、現在がん患者は名古屋にいつている。四日市や海南病院にも整備されているとも聞く。導入して採算はあうのか？ また、放射線治療の医師は確保できるのか？ ⇒このような意見があったことを病院の方に伝えておきます。 ・病院の津波対策はどのようになっているのか？ ⇒1階、2階を駐車場にして医療機器に影響のないようにしている。そのような問題は認識しているし、指摘もしてきた。国・県で堤防補強工事も行われている。